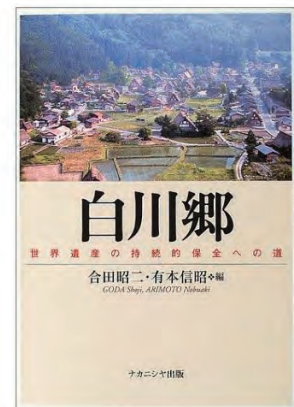


高校生のためのオープンセミナー in 飛騨 2009

大学で学ぶことは何なの？ 大学の先に、社会や地域で何が待っているの！ 学生や市民も参加…



柳ヶ瀬でのオープンカレッジの様子



高校生の皆さんは、受験・進学に向かって、どのような大学や学部で学びたいのか、いろいろと考えていると思います。岐阜大学と岐阜経済大学が共同開催するこのオープンカレッジでは、こんなことを皆さんに伝えたいと思っています。

1 いろいろな分野から学んでいく意味：経済学・経営学、まちづくり・自治・環境・文化・社会

いろいろな分野からの見方を通じて、高校までとは違う大学での学び方について、実際に体験してもらいたいと思っています

2 大学から、就職、社会や地域に開かれていくために

大学で学んだその先には何があるのか想像してみませんか。企業や市民、行政の皆さんも一緒に参加します

2009年11月1日（日）午前の部：10時半～11時半

■大学で学ぶ、その魅力と醍醐味（林 正子・岐阜大学地域科学部教授・日本近代文学）

どの大学に進学しようか、どの学部で勉強しようか、そもそも大学で学ぶことの意義はいったい何なのか、皆さん迷っていらっしゃるのでは？ 大学での勉強がいかに関わるのか、その可能性について、人文学・地域学・日本近代文学などを題材としてご紹介いたします。

（この後昼食前まで、気軽に話のできる相談コーナーももうけます）

午後の部：13時～15時半

□若者参加による中心市街地の魅力づくりー地元課題の解決型まちづくりの魅力と方法

（鈴木 誠・岐阜経済大学教授）

高校生や大学生が参加した中心市街地や商店街の活性化が注目を集めています。地元の生徒や学生でなくてもボランティア学習の一環で商店街再生に腕を磨く『よそ者』も増えています。いったい何が魅力なのでしょう。若者参加による地元課題解決を目指した起業・商店街再生の全国事例と方法を考えましょう。

■観光、交通、交流（竹内伝史・岐阜大学地域科学部教授）

少子高齢化とともにゆとりある心豊かな暮らしが希まれる成熟した時代、地方の地域では「地方の良さ」を発揮できる、交流に根ざした地域づくりが求められる。福祉を支える交流、文化を育む交流、新しい産業の種としての交流。なかでも、地域の人々の暮らしと共にある新しいタイプの観光産業が注目される。ここでは、これを「スローツーリズム」という概念の下に考えてみたい。

○高校生、市民、行政の職員などを交えたフリートークをします

会場は飛騨・世界生活文化センター

高山駅よりマイクロバスで送迎します



問い合わせ先：岐阜大学地域科学部

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1

tel 058-293-3002 fax 058-293-3008

mail: chiiki@gifu-u.ac.jp

自分が興味のあることを、ここで見つけよう！